

2020年度 学校法人辻料理学館
辻調理師専門学校 辻製菓専門学校 学校関係者評価委員会

議事録

日 時	2020年11月21日(土) 14時00分～16時00分
場 所	辻調理師専門学校 本館3階 教室
出席者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p>第1号委員 在校生保護者 廣田 知香 (辻調理師専門学校 在校生 保護者) 辻 由佳 (辻製菓専門学校 在校生 保護者)</p> <p>第2号委員 卒業生委員 竹入 博人 (hoisam China TAKE 店主) *副委員長 森 貞夫 (株式会社 柏屋葛城堂 代表取締役社長)</p> <p>第3号委員 業界関係者 辻岡 久味 (株式会社ホテルグランヴィア大阪 総務企画部 総務課 担当課長) 富澤 利加 (株式会社 HRO ハイアットリージェンシー大阪 人事部 部長)</p> <p>第4号委員 高など学校関係者 銀杏 久子 (学校法人淀之水学院 昇陽高等学校 進路指導部長) 山下 善啓 (大和高田市立高田商業高等学校 教頭)</p> <p>第5号委員 地域有識者 宮崎 哲治 (株式会社りそな銀行 阿倍野橋支店 支店長) *委員長 浅野 京子 (大阪市阿倍野区役所:教育支援担当課長 兼 大阪市教育委員会事務局 総務部阿倍野区教育担当課長)</p> <p>【学校側出席者】 辻 芳樹 (辻調理師専門学校/辻製菓専門学校 校長) 山田 研 (辻調理師専門学校/辻製菓専門学校 校長特別補佐) 棟方 浩一 (学校法人辻料理学館 法人本部 本部長) 田中 祐司 (学校法人辻料理学館 法人本部 事務局長) 尾崎 一正 (辻調理師専門学校 運営代表) 立嶋 穰 (辻製菓専門学校 運営代表)</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 議事次第 ▶ 学校関係者評価委員会規程(改定案) ▶ 学校関係者評価委員会規程 新旧対象表 ▶ 学校関係者評価委員会 委員名簿 ▶ 辻調理師専門学校 2019年度自己点検・評価報告書 ▶ 辻製菓専門学校 2019年度自己点検・評価報告書
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校関係者評価委員会規程の改定 2. 自己点検・評価結果の概要説明・質疑応答・意見交換
議事経過	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 定刻となり、事務局は開会を宣した。 2. 委員紹介 事務局より、委員の紹介がなされた。 3. 校長挨拶 校長より、開会の挨拶と本会議の目的について説明があった。

議事経過	<p>4. 配布資料の確認 事務局より、配布資料の確認がなされた。</p> <p>5. 委員長などの選出 委員会規程に基づき、委員の互選により、委員長に宮崎氏、副委員長に竹入氏が選出された。</p> <p>6. 議事 1) 学校関係者評価委員会規程の改定（説明者：棟方本部長） 棟方本部長より、資料「学校関係者評価委員会規程 新旧対象表」をもとに変更事項、変更理由について説明の後、確認、了承された。</p> <p>2) 自己点検・評価結果の概要説明および質疑応答・意見交換（説明者：尾崎運営代表、立嶋運営代表、棟方本部長） 資料「2019年度自己点検・評価報告書をもとに、尾崎運営代表より辻調理師専門学校（以下、「調理」という。）について、立嶋運営代表より辻製菓専門学校（以下、「製菓」という。）の自己点検評価結果について、また、一部の項目について棟方本部長より、それぞれ説明がなされた。項目ごとに説明の後、つど、質疑応答、意見交換が行われた。</p> <p>7. その他 事務局より、次回の会議については令和3年1月30日（土曜日） 14時00分より行う旨、事務連絡が行われた。</p> <p>8. 閉会 最後に、辻校長より、本日の委員会質疑への謝辞が述べられた後、事務局は閉会を宣し、散会した。</p>
------	--

●委員による評価および意見・要望

評価	意見・要望
(1) 教育理念・目的	
<p>建学の精神のもと、教育理念、将来構想を掲げ、教職員間で共有しながら、調理師および製菓衛生師の養成に積極的に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校の取り組みは素晴らしく、申し分ない。
(2) 学校運営	
<p>辻調理師専門学校、辻製菓専門学校ともに、法人の運営方針に基づき、事業計画を策定し、適切に運営できている。デジタル化の推進など、一部に課題が残った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調理の「ほぼ適切」という評価については、実際リモートも取り入れて適切に運営されているので「適切」と言えるのではないか。さらにシステム化を進め、コロナ禍における新しい生活様式に対応していただければと思う。
(3) 教育活動	
<p>建学の精神や教育理念に沿った教育課程の編成を策定し、学科のカリキュラムを体系的に編成している。また、教育課程編成委員会や関係企業や業界団体との連携によりカリキュラムの見直しを行っている。資格取得の支援体制も整っており、教員の人材育成に取り組んでいる。 授業評価への取り組みや人材育成のための研修計画の策定などに改善の必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ この学校には高度な内容を学べる環境整っている。 ▶ 製菓衛生師試験の受験者全員が合格というのは素晴らしい。これを継続することが業界の発展の基礎になると思うのでぜひ続けていただきたい。 ▶ 母校の教員になりたいというのは、愛着信や学校での学びがよかったことの表れだと思うので、そういう教育を引き続きお願いしたい。
(4) 学修成果	
<p>就職率については、中期目標と年間目標を定め、支援体制を整備して取り組んでいる。 退学率については、単年度と修業年限ごとに目標を定め、「ピアサポート」や「アパシステム」を取り入れ、退学防止に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校の理念や実績に全幅の信頼を置いている。卒業生の活躍は社内でも聞いているので、非常に安心してお迎えできる状態である。 ▶ 仕事の内容を知っていただくことが就職のミスマッチの防止につながると思うため、できる限り協力させていただきたい。 ▶ 退学者の多くが高校新卒者で、退学理由が分野に対するミスマッチなら、高校側ももう少し考える必要がある。 ▶ 退学率を気にせずには業界の生業としてお客様に喜んでいただく方に終始していただければと思う。
(5) 学生支援	
<p>保健師を常駐させており、心のケアについて学内に相談室を設置し、相談員を配して対応している。日々の健康状態の把握に努めるとともに、インフルエンザや感染性胃腸炎などについては対応マニュアルを作成し、集団感染の未然防止に注力している。学生の学びの支援として、コンクール出場のサポートや課外イベントの企画も行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 担任や先生方が相談に乗ってください、助けていただいております、安心して任せられる学校だと感じている。 ▶ 体調面での支援が行き届いていると思う。 ▶ Teams の活用など、学校の中でこういうツールを使い、常に授業やコミュニケーションに活かされているので関心するとともに安心している。
(6) 教育環境	

<p>教員は、料理や製菓・製パンのジャンル別に専門教員を有し、理論および実習授業を担当することで、専門性の高さを担保している。</p> <p>施設設備についても分野ごとの厨房を想定した設備や機器を備えるとともに、ランニングコストの軽減につながるよう計画的に更新工事を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 素晴らしい施設である。今日学校に来て、コロナ禍の中であらゆるところに消毒が設置されているのを見て、対応の素晴らしさに感心した。
<p>(7) 学生の受け入れ募集</p>	
<p>入学選考委員会が組織され、学生の募集、選考については適宜検討がなされ、コンプライアンスを遵守し、適正に運営されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集活動については、事前にアポを取ってきちんと進めていただいている。 ▶ 大学などでは願書をホームページから取り寄せる形になってきている。ペーパーの削減にもつながる。 ▶ インパクトのあるキャッチコピーなどがあれば、生徒も見るのではないかと。 ▶ 高校に商業科でレトルトのすき焼きを作って販売しているので、ぜひ高専連携をお願いしたい。 ▶ オープンキャンパスで仕事の厳しさをうかがっていたので、入学してからのギャップはない。
<p>(8) 財務</p>	
<p>地方公共団体と連携して地方創生や町おこしに貢献するほか、世界規模の料理コンクールの審査や会場提供による運営協力を行うなど、学校の教育資源を活かした社会・地域貢献に積極的に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業活動収支計算書において、収入は上ぶれ、支出についても予算に対して抑制しながらうまく運営されている。 ▶ 2021年度については、これまでに遭遇したことがないような状況が想定されるため、銀行としてできることは最大限に支援させていただきたい。
<p>(9) 法令などの遵守</p>	
<p>関係法令や学内の規則・規程に基づき適切に業務を執行している。また、個人情報の適正な取り扱いや、自己点検を実施し、必要な情報を公開している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事実に相違ないと思っているので、引き続き、健全な運営をお願いしたい。 ▶ 本会の規程の改定についてもしっかりと取り組んでおられる印象を受けた。
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p>	
<p>業界団体や地方公共団体からの依頼を受けて会場提供や人員協力を行うなど、学校の教育資源を活かした社会・地域貢献に積極的に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 夏休みなどの半日、1日のイベントに参加いただき、区内の小学校にブースを設けて子供たちの体験学習に協力・連携いただければと思う。 ▶ デジタル化と社会貢献は、企業の課題でもある。若い人の方が答えや新しい道を知っている場合があるので、大人がチャンスや道を狭めるのではなく、新たな答えのを見つけ方を模索できればと思う。
<p>(11) 国際交流</p>	
<p>増加する留学生を入学前から卒業まで一貫して支援するため、外国語のできる専門の職員を配置し、日々の相談はもとより、「特定活動ビザ」や「特定技能ビザ」による就職の支援にも取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 留学生は学校で勉強するだけでなく現場で学びたいという思いがあるので、それが実現するようサポートしていただきたい。

作成日 令和2年11月25日